

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 30日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県喜多方市字長内824-2

氏 名 榎内建設工業株式会社

代表取締役 榎 内 秀 司

電話番号 0241-22-1711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	榎内建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県喜多方市字長内824-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	中分類 総合建設業 小分類 一般土木建築工事業
② 事業の規模	完成工事高 1,806,470,000円（令和6年度実績）
③ 従業員数	49人（令和7年3月末現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場→ がれき類 ⇒ 中間処理委託(再生骨材) 木くず ⇒ 中間処理委託(木質チップ等) 廃プラスチック類 ⇒ 中間・最終処理委託(再利用等) 金属くず ⇒ 中間処理委託(再利用・売却) 建設系混合 ⇒ 中間・最終処理委託(再利用等) ガラスくず ⇒ 中間・最終処理委託(再利用等) 廃石膏ボード ⇒ 中間・最終処理委託(再利用等) 汚泥 ⇒ 中間・最終処理委託(再利用等)

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	
廃棄物担当役員(取締役社長)	廃棄物担当役員(取締役社長)
	↓
産廃統括責任者(工事部長)	総務部長(工事受注・産廃管理事務)
： 産廃計画の策定	↓
産廃管理者(土木課長)	工事部長(作業所の産廃管理)
： 産廃委託・処理の管理	(委託先の委託契約)
廃棄物担当(総務課・建築課・土木課)	(収集・処分報告管理)
： 産廃処理・報告の業務	↓
	土木課長(廃棄物の集約管理)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	”別紙の通り”		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	”別紙の通り”		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (建設系混合廃棄物) 廃棄物が混合しないよう、区分処理をしているが排出区分けの未徹底部分がある
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (建設系混合廃棄物) 廃棄物が混合させないように、小単位のフレコンパック(1t)等の活用による廃棄物種別分けを指示徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ” 現状無し”		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ” 現状無し”		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ” 現状無し”		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ” 現状無し”		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ” 現状無し”		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ” 別紙の通り”		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	” 別紙の通り”		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			NO.1
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(がれき類 「有筋コンクリート」)	(がれき類 「無筋コンクリート」)
	排 出 量	51.06 t	344.03 t
	(これまでに実施した取組)		
	(がれき類「有筋コンクリート」) 前年 465.87t 排出 毎年度の受注量は一定でない。今年度は災害復旧工事の受注が減少 大幅な減となった。		
② 計 画	(がれき類「無筋コンクリート」) 前年 3,563.33t 排出 毎年度の受注量は一定でない。今年度は災害復旧工事の受注が減少 大幅な減となった。		
	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(がれき類 「有筋コンクリート」)	(がれき類 「無筋コンクリート」)
	排 出 量	100 t	500 t
	(今後実施する予定の取組)		
① 現 状	(がれき類「有筋コンクリート」) 毎年度の受注量は一定でない。7年度の発注予定内容から推測 6年度と同等の100t程度と見込まれる。		
	(がれき類「無筋コンクリート」) 毎年度の受注量は一定でない。7年度の発注予定内容から推測 6年度と同等の500t程度と見込まれる。		
	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(がれき類 「アスファルト」)	(木くず)
	排 出 量	1,961.91 t	596.98 t
② 計 画	(これまでに実施した取組)		
	(がれき類「アスファルト」) 前年 788.25t 排出 道路修繕工事による発生が大きく、受注件数が増えた結果大幅に 増加した。		
	(木くず類) 前年 243.66t 排出 河川関係の処理数が大幅に増えた。発注予定によると、今後も 増えると考えられる。		
	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(がれき類 「アスファルト」)	(木くず)
① 現 状	排 出 量	1,000 t	300 t
	(今後実施する予定の取組)		
	(がれき類「アスファルト」) 発注予定によると、道路維持・修繕工事の件数が多数あり 1,000t程度の発生が見込まれる。		
	(木くず類) 木くずについては、発注予定等を参考に予想すれば300t 程度だが、民間の家屋解体があった場合増加が予想される。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			NO.2
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(建設系 混合廃棄物)	(廃石膏 ボード)
	排 出 量	15.08 t	1.16 t
	(これまでに実施した取組) (建設系混合廃棄物) 前年 4.80t 排出 不可分一体の廃棄分類の混合廃棄物として処理委託してきたが、 管理型・安定型の処理に頼っていただけの実態であった。 (廃石膏ボード) 前年 6.74t 排出 混合廃棄物として処理委託していたが、分別処理を行い排出 した。		
	【 令和7年度 目 標 】		
② 計 画	産業廃棄物の種類	(建設系 混合廃棄物)	(廃石膏 ボード)
	排 出 量	10 t	5 t
	(今後実施する予定の取組) (建設系混合廃棄物) 混合廃棄物としての処理委託を見直し、分別作業により再利用可能 となるようにする。 (廃石膏ボード) 次年度も継続して、排出区分対応を行う。		
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(可燃物)	(金属くず)
	排 出 量	1.92 t	0.20 t
	(これまでに実施した取組) (可燃物) 前年 4.03t 排出 資材を梱包する可燃物の数量が減少した。 (金属くず) 前年 8.53t 排出 混合廃棄物としての処理委託から分別処理を徹底したが 減少した。		
	【 令和7年度 目 標 】		
② 計 画	産業廃棄物の種類	(可燃物)	(金属くず)
	排 出 量	5 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) (可燃物) 再利用の可能性があるが、廃棄物としての対応を継続する。 (金属くず) 減少傾向と考えられる。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			NO.3
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(ガラス 陶器くず)	(石綿)
	排 出 量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) (ガラス陶器くず) 前年 0.00t 排出 発生がなかった。		
	(石綿) 前年 0.00t 排出 発生がなかった。		
② 計 画	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(ガラス 陶器くず)	(石綿)
	排 出 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) (ガラス陶器くず) 発生が無いと考えられる。		
	(石綿) 発生が無いと考えられる。		
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(廃プラスチック)	(がれき類)
	排 出 量	15.92 t	5.34 t
	(これまでに実施した取組) (廃プラスチック) 前年 13.63t 排出 仮設に使用した大型土のうを委託処理した。		
	(がれき類) 前年 0.00t 排出 全数、委託処理した。		
② 計 画	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(廃プラスチック)	(がれき類)
	排 出 量	20 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) (廃プラスチック) 前年度同様と考えられる。		
	(がれき類) 発生が無いと考えられる。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			NO.4
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(汚 泥)	(廃 油)
	排 出 量	1.52 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	(汚泥) 前年 0.64t 排出 切断機械の性能が向上し、全数の回収ができた。		
② 計 画	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(汚 泥)	(廃 油)
	排 出 量	1 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	(汚泥) 今後も発生が予想され、全数の回収処理委託を行う。		
① 現 状	(前年度(令和6年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	(燃 え 殻)	()
	排 出 量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	(燃え殻) 前年 0.00t 排出 発生がなかった。		
② 計 画	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(燃 え 殻)	()
	排 出 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	(燃え殻) 発生が無いと考えられる。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.1	
① 現 状 有筋コン クリート 無筋コン クリート	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(がれき類 「有筋コンクリート」)	(がれき類 「無筋コンクリート」)
	排 出 量	51.06 t	344.03 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	51.06 t	344.03 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (がれき類「有筋コンクリート」) 毎年度の工事受注量は一定とはならない。搬出先の選定に関しては 近距離の処理施設への搬入に取り組んでいる。災害復旧工事の件数が 減少、前年比414.81t減となった。		
	(がれき類「無筋コンクリート」) 毎年度の工事受注量は一定とはならない。搬出先の選定に関しては 近距離の処理施設への搬入に取り組んでいる。災害復旧工事の件数が 減少、前年比3219.3t大幅減となった。		
	② 計 画 有筋コン クリート 無筋コン クリート	【 令和7年度 目 標 】	
産業廃棄物の種類		(がれき類 「有筋コンクリート」)	(がれき類 「無筋コンクリート」)
排 出 量		100 t	500 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量		100 t	500 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
(今後実施する予定の取組) (がれき類「有筋コンクリート」) 再生材としてリターンできるよう取り組む。			
(がれき類「無筋コンクリート」) 再生材としてリターンできるよう取り組む。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

NO.2

① 現 状

アスファルト

木くず

【前年度(令和6年度)実績】		
産業廃棄物の種類	(がれき類 「アスファルト」)	(木くず)
排 出 量	1,961.91 t	596.98 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,961.91 t	596.98 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組) (がれき類「アスファルト」) 毎年度の工事受注量は一定とはならない。搬出先の選定に関しては 近距離の処理施設への搬入に取組んでいる。道路維持工事の件数が増え、前年比591.34t増となった。 (木くず) 毎年度の工事受注量は一定とはならない。搬出先の選定に関しては 近距離の処理施設への搬入に取組んでいる。河川工事の件数が増え、前年比353.32t増となった。		

② 計 画

アスファルト

木くず

【 令和7年度 目 標 】		
産業廃棄物の種類	(がれき類 「アスファルト」)	(木くず)
排 出 量	1,000 t	300 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	300 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組) (がれき類「アスファルト」) 発注予定件数が減少傾向。尚、搬出先の選定に関しては近距離の 処理施設への搬入を継続する。前年度比961.91tの減を見込む。 (木くず) 解体工事受注量が増加するよう応札に取組む。搬出先の選定に関しては 近距離の処理施設への搬入を継続する。前年度比296.98tの減を見込む。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.3	
① 現 状 建設系混 合廃棄物 廃石膏 ボード	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(建設系 混合廃棄物)	(廃石膏 ボード)
	排 出 量	15.08 t	1.16 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7.28 t	1.16 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	15.08 t	1.16 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (建設系混合廃棄物) 全数処理施設へ委託してきた。		
	(廃石膏ボード) 全数処理施設へ委託してきた。		
	② 計 画 建設系混 合廃棄物 廃石膏 ボード	【 令和7年度 目 標 】	
産業廃棄物の種類		(建設系 混合廃棄物)	(廃石膏 ボード)
排 出 量		10 t	5 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		10 t	5 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量		10 t	5 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
(今後実施する予定の取組) (建設系混合廃棄物) 廃棄物の有効的な処理が可能な委託先を開拓する。			
(廃石膏ボード) 有効的な処理が可能な委託先を開拓する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.4	
① 現 状 可燃物 金属くず	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(可燃物)	(金属くず)
	排 出 量	1.92 t	0.20 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.92 t	0.20 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.92 t	0.20 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	(可燃物) 処理施設に全面委託している。		
	(金属くず) 処理施設に全面委託している。		
② 計 画 可燃物 金属くず	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(可燃物)	(金属くず)
	排 出 量	5 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	(可燃物) 廃棄物として処理施設に全面委託する。		
	(金属くず) 廃棄物として処理施設に全面委託する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.5	
① 現 状 ガラス陶器くず 石綿	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(ガラス陶器くず)	(石綿)
	排 出 量	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (ガラス陶器くず) 搬出実績がなかった。 _____ _____ _____ (石綿) 搬出実績がなかった。 _____ _____ _____		
	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(ガラス陶器くず)	(石綿)
排 出 量	0 t	0 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
(今後実施する予定の取組) (ガラス陶器くず) 搬出が生じた場合、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託する。 _____ _____ _____ (石綿) 搬出が生じた場合、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託する。 _____ _____ _____			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.7	
① 現 状 汚泥 廃油	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(汚 泥)	(廃 油)
	排 出 量	1.52 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.52 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	(汚泥) 搬出量が最小限となるよう、使用機械の選定を行った。		
	(廃油) 搬出実績がなかった。		
② 計 画 汚泥 廃油	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(汚 泥)	(廃 油)
	排 出 量	1 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	(汚泥) 今後も搬出量が最小限となるよう、使用機械の選定を行う。		
	(廃油) 搬出が生じた場合、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		NO.8	
① 現 状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	(燃え殻)	()
	排 出 量	0.00 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) (燃え殻) 搬出実績がなかった。		
② 計 画	【 令和7年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	(燃え殻)	()
	排 出 量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) (燃え殻) 搬出が生じた場合、最も近距離の処理施設に委託する。		